

# お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・ デベロップメント・ファンド 愛称：地球貢献

## 運用報告書（全体版）

第4期（決算日 2025年9月10日）

### 受 益 者 の み な さ ま へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・ファンド」は、2025年9月10日に第4期の決算を行いました。

ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	原則として、無期限です。（設定日：2021年11月8日設定）
運 用 方 針	「お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・ファンド」は、マザーファンド受益証券への投資を行います。以下はマザーファンドである「お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド」の運用方針です。 ①この投資信託は、主として環境・社会貢献に注力している企業を中心に構成された世界の上場投資信託証券（ETF）に分散投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主 要 運 用 対 象	ベ ビ 一 フ ァ ン ド お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。 マ ザ 一 フ ァ ン ド 世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）等を主要な投資対象とします。
組 入 制 限	ベ ビ 一 フ ァ ン ド ①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 マ ザ 一 フ ァ ン ド ①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	毎年9月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。



東京都中央区新川1丁目17番21号

＜照会先＞

電話番号：03-6629-7090

（受付時間：委託会社の営業日の9：30～17：00）

ホームページ：<https://www.money-design.com/>

## 【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配額)	基 準 価 額					投 資 信 託 純 資 産 額 証 組 入 比 級 率	
		税 分	込 配	み 金	期 謄	中 落 率		
(設定日) 2021年11月 8日	円 10,000			円 一		% —	% —	百万円 7,369
1期(2022年9月12日)	10,396			0		4.0	98.6	34,631
2期(2023年9月11日)	10,217			0		△ 1.7	98.8	13,536
3期(2024年9月10日)	10,697			0		4.7	98.9	7,683
4期(2025年9月10日)	12,297			0		15.0	99.3	5,918

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指標がないため、ベンチマークならびに参考指標は表示しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額		投 資 信 託 純 資 産 額 証 組 入 比 級 率
		騰	落	
(期 首) 2024年9月10日	円 10,697		% —	% 98.9
9月末	11,210		4.8	98.9
10月末	11,593		8.4	99.1
11月末	11,445		7.0	99.9
12月末	11,630		8.7	99.0
2025年1月末	11,641		8.8	99.2
2月末	11,135		4.1	99.3
3月末	10,890		1.8	98.8
4月末	10,519		△ 1.7	99.4
5月末	11,121		4.0	98.9
6月末	11,494		7.5	98.8
7月末	12,060		12.7	99.0
8月末	12,282		14.8	99.3
(期 末) 2025年9月10日	12,297		15.0	99.3

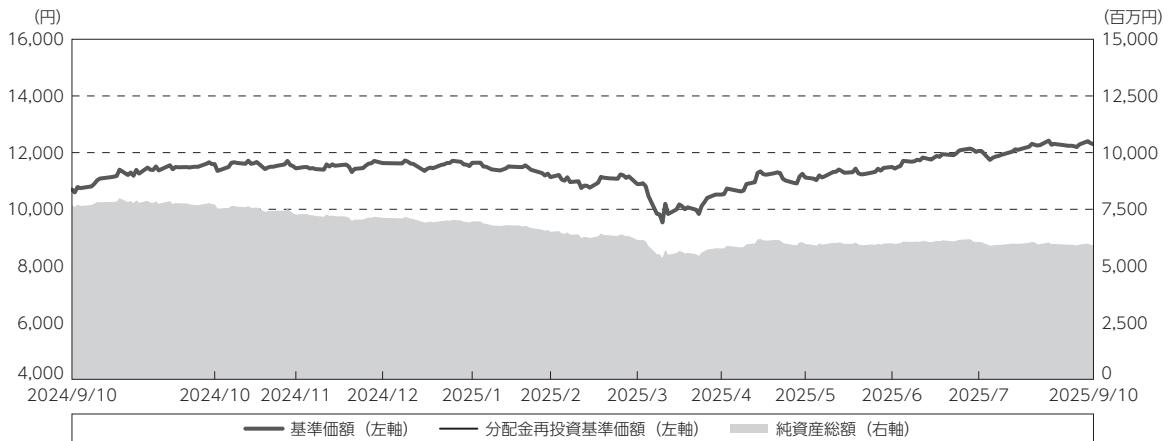
(注) 謄落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

(2024年9月11日～2025年9月10日)

## 期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2024年9月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指標がないため、ベンチマークならびに参考指標は表示しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+15.0%となりました。

当ファンドは、「お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当期も16のテーマに着目した運用を継続しましたが、テーマ間では、社会関連テーマの「医療民主化」を除き、プラスのリターンとなりました。特に、「環境ファイナンス」、「スマート・インフラ」など環境関連テーマで組み入れている一部のETFが上昇し、ファンド基準価額のリターンに対して高い寄与となりました。

前期末に1ドル142円近辺だった米ドルは、堅調な米国経済に加えて米大統領選でインフレ的な政策を掲げるトランプ氏が勝利したことで、2024年末にかけて円安に推移しました。2025年に入ると、日銀の利上げ観測の高まりから日米金利差が縮小したことに加えて、米国による相互関税発動から、4月には一時140円台まで円高が進行しました。その後は貿易交渉の進捗や、地政学的リスクなどを受けて円安に推移し、147円台半ばで期末を迎えるました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動がファンドの基準価額にプラスの影響をもたらし、パフォーマンスにもプラス寄与しています。

## 投資環境

世界の株式市場は、全体として上昇しました。期初から2025年2月にかけては、米国での利下げ決定やトランプ氏の大統領就任に対する期待感から上昇する局面もありましたが、関税強化への警戒感や一部ハイテク企業の業績懸念などから、地域や業種によってまちまちな動きとなりました。特に、2025年3月から4月にかけては、米国の関税政策発動により景気の先行き不透明感が広がり、市場は一時的に下落しました。しかし、その後は米中間の貿易交渉が進展し、関税引き下げや延期が合意されたことを受け、投資家の間に安心感が広がりました。8月には、米国経済指標の軟調さから早期利下げ観測が広がる中で、堅調な企業業績と相まって、株価は上昇して期末を迎えました。

市場を内容的に見ると、業種や地域によって異なる結果となりました。業種別では、AI（人工知能）関連投資の拡大に支えられて半導体や情報通信関連の大型テクノロジー企業が相場を牽引しました。一方で、トランプ新政権の医療政策への不透明感からヘルスケア関連株は比較的のさえない動きとなりました。また、通期で見ると成長株に比べて割安株が劣後する傾向が見られました。地域・国別でみると、欧州では政局不安などからフランス株が他の国に比べて低いリターンとなりました。アジアでは、政府の景気刺激策への期待などから中国株が他の国に比べて比較的高いリターンとなりました。日本の株式市場は、期初から2025年4月にかけては、国内外の政治情勢、特に米トランプ政権の関税政策に大きく揺さぶられ不安定な展開が続いたものの、その後は関税交渉の進展や米国の利下げ期待などから半導体関連株や内需関連株などを中心にして上昇しました。

このような市場環境のなか、ESGに着目したETFもテーマによって組み入れている銘柄の業種比率などが異なるため、米政権の医療政策への不透明感から「医療民主化」テーマは下落したものの、その他のテーマは上昇しました。特に、金融セクターの株価が全体として上昇したことを受けて、「環境ファイナンス」テーマは良好でした。AI関連のデータセンター向けの需要増加から、「スマート・シティ」テーマも好調でした。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド」受益証券への投資を通じ、主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することで、実質的に世界の株式等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、環境や社会における課題解決に注力していると考えられる企業を中心に分散投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指すことです。これに向けて、テーマごとに定められた客観的な評価尺度を活用しながら投資を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指標がないため、ベンチマークならびに参考指標は設定しておりません。

## 分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきました。また、収益分配に充てなかつた利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第4期
	2024年9月11日～ 2025年9月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,673

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

引き続き、「お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド」受益証券への投資を通じ、環境や社会における課題解決に注力している企業を中心に構成された世界の上場投資信託証券（ETF）に投資を行うことにより、効率的な運用を行うことを目指します。ETFの選定には独自の評価基準を用い、取引コストや流動性なども考慮しながら組入比率を調整して参ります。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2024年9月11日～2025年9月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 126	% 1.100	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	( 62 )	(0.539)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	( 62 )	(0.539)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 3 )	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.021	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	( 2 )	(0.021)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	( 0 )	(0.001)	
(d) その他の費用	16	0.141	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	( 3 )	(0.031)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 1 )	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他の）	( 12 )	(0.104)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	144	1.263	
期中の平均基準価額は、11,418円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

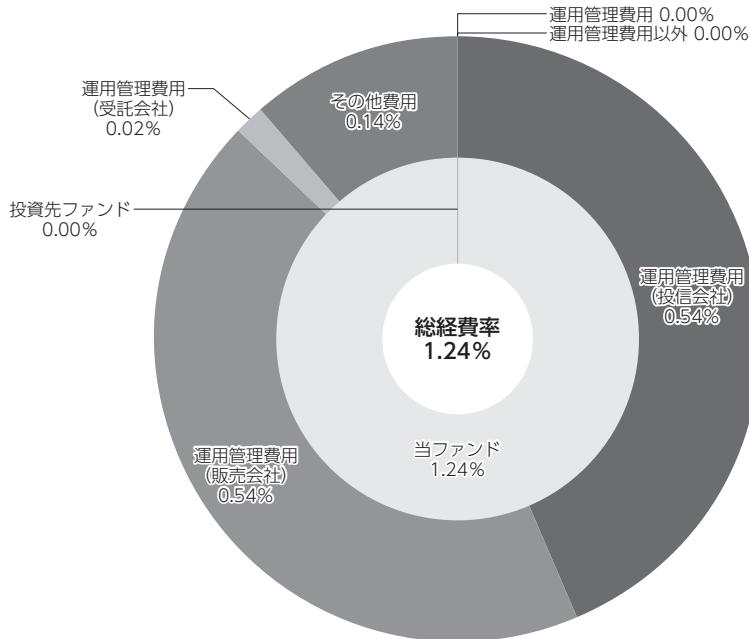
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しております。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.24%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	1.24
①当ファンドの費用の比率	1.24
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2024年9月11日～2025年9月10日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド	千口 2,818	千円 3,538	千口 2,352,554	千円 2,776,504

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年9月11日～2025年9月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年9月11日～2025年9月10日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2025年9月10日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	評価額
お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド	千口 6,955,164	千口 4,605,428	千円 5,918,435	千円 5,918,435

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2025年9月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド	千円 5,918,435	% 99.0
コール・ローン等、その他	62,116	1.0
投資信託財産総額	5,980,551	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(5,515,210千円)の投資信託財産総額(5,942,914千円)に対する比率は92.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=147.52円、1ユーロ=172.55円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年9月10日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	5,980,551,838
お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド(評価額)	37,864,836
未収入金	5,918,435,950
未収利息	24,250,689
(B) 負債	363
未払解約金	62,115,525
未払信託報酬	25,593,436
その他未払費用	33,201,947
(C) 純資産総額(A-B)	3,320,142
元本	5,918,436,313
次期繰越損益金	4,812,853,105
(D) 受益権総口数	1,105,583,208
1万口当たり基準価額(C/D)	12,297円

(注) 当ファンドの期首元本額は7,182,696,826円、期中追加設定元本額は8,272,462円、期中一部解約元本額は2,378,116,183円です。

(注) 1口当たり純資産額は1,2297円です。

## ○損益の状況 (2024年9月11日～2025年9月10日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	894
(B) 有価証券売買損益	894
売買益	848,001,525
売買損	1,009,467,083
(C) 信託報酬等	△ 161,465,558
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 80,165,055
(E) 前期繰越損益金	767,837,364
(F) 追加信託差損益金	498,584,705
(配当等相当額)	△ 160,838,861
(売買損益相当額)	( 20,346,107)
(G) 計(D+E+F)	(△ 181,184,968)
(H) 収益分配金	1,105,583,208
次期繰越損益金(G+H)	0
追加信託差損益金	1,105,583,208
(配当等相当額)	△ 160,838,861
(売買損益相当額)	( 20,354,614)
分配準備積立金	(△ 181,193,475)
	1,266,422,069

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(60,571,895円)、費用控除後の有価証券等損益額(707,265,469円)、信託約款に規定する収益調整金(20,354,614円)および分配準備積立金(498,584,705円)より分配対象収益は1,286,776,683円(1万口当たり2,673円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

## ○お知らせ

・「投資信託および投資法人に関する法律」第14条の改正に伴い、投資信託約款の「運用報告書に記載すべき事項」の記載を「運用状況に係る情報」に変更する約款変更を行いました。(2025年4月1日)

# お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド

## 運用報告書

第4期（決算日 2025年9月10日）  
(2024年9月11日～2025年9月10日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2021年11月8日設定）
運用方針	①この投資信託は、主として環境・社会貢献に注力している企業を中心に構成された世界の投資信託証券（ETF）に分散投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）等を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。



## 【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 券 率	純 資 産 額
	期 謄	中 落	率		
(設定日) 2021年11月8日	円 10,000		% —	% —	百万円 7,369
1期(2022年9月12日)	10,494		4.9	98.6	34,632
2期(2023年9月11日)	10,428		△ 0.6	98.7	13,536
3期(2024年9月10日)	11,047		5.9	98.9	7,683
4期(2025年9月10日)	12,851		16.3	99.3	5,918

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指標がないため、ベンチマークならびに参考指標は表示しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額			投 資 信 託 券 率
	騰	落	率	
(期 首) 2024年9月10日	円 11,047		% —	% 98.9
9月末	11,584		4.9	98.8
10月末	11,992		8.6	98.9
11月末	11,851		7.3	99.6
12月末	12,054		9.1	98.6
2025年1月末	12,078		9.3	98.7
2月末	11,567		4.7	98.7
3月末	11,324		2.5	98.8
4月末	10,949		△ 0.9	99.3
5月末	11,586		4.9	98.6
6月末	11,986		8.5	98.5
7月末	12,587		13.9	98.5
8月末	12,829		16.1	98.8
(期 末) 2025年9月10日	12,851		16.3	99.3

(注) 謄落率は期首比です。

## ○運用経過

(2024年9月11日～2025年9月10日)

## 期中の基準価額等の推移

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+16.3%となりました。当期も16のテーマに着目した運用を継続しましたが、テーマ間では、社会関連テーマの「医療民主化」を除き、プラスのリターンとなりました。特に、「環境ファイナンス」、「スマート・インフラ」など環境関連テーマで組み入れている一部のETFが上昇し、ファンド基準価額のリターンに對して高い寄与となりました。

前期末に1ドル142円近辺だった米ドルは、堅調な米国経済に加えて米大統領選でインフレ的な政策を掲げるトランプ氏が勝利したこと、2024年末にかけて円安に推移しました。2025年に入る

と、日銀の利上げ観測の高まりから日米金利差が縮小したことに加えて、米国による相互関税発動から、4月には一時140円台まで円高が進行しました。その後は貿易交渉の進捗や、地政学的リスクなどを受けて円安に推移し、147円台半ばで期末を迎えるました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動がファンドの基準価額にプラスの影響をもたらし、パフォーマンスにもプラス寄与しています。



## 投資環境

世界の株式市場は、全体として上昇しました。期初から2025年2月にかけては、米国での利下げ決定やトランプ氏の大統領就任に対する期待感から上昇する局面もありましたが、関税強化への警戒感や一部ハイテク企業の業績懸念などから、地域や業種によってまちまちな動きとなりました。特に、2025年3月から4月にかけては、米国の関税政策発動により景気の先行き不透明感が広がり、市場は一時的に下落しました。しかし、その後は米中間の貿易交渉が進展し、関税引き下げや延期が合意されたことを受け、投資家の間に安心感が広がりました。8月には、米国経済指標の軟調さから早期利下げ観測が広がる中で、堅調な企業業績と相まって、株価は上昇して期末を迎えるました。

市場を内容的に見ると、業種や地域によって異なる結果となりました。業種別では、AI（人工知能）関連投資の拡大に支えられて半導体や情報通信関連の大型テクノロジー企業が相場を牽引しました。一方で、トランプ新政権の医療政策への不透明感からヘルスケア関連株は比較的のさえない動きとなりました。また、通期で見ると成長株に比べて割安株が劣後する傾向が見られました。地域・国別でみると、欧州では政局不安などからフランス株が他の国に比べて低いリターンとなりました。アジアでは、政府の景気刺激策への期待などから中国株が他の国に比べて比較的高いリターンとなりました。日本の株式市場は、期初から2025年4月にかけては、国内外の政治情勢、特に米トランプ政権の関税政策に大きく揺さぶられ不安定な展開が続いたものの、その後は関税交渉の進展や米国の利下げ期待などから半導体関連株や内需関連株などを中心にして上昇しました。

このような市場環境のなか、ESGに着目したETFもテーマによって組み入れている銘柄の業種比率などが異

なるため、米政権の医療政策への不透明感から「医療民主化」テーマは下落したものの、その他のテーマは上昇しました。特に、金融セクターの株価が全体として上昇したことを受け、「環境ファイナンス」テーマは良好でした。AI関連のデータセンター向けの需要増加から、「スマート・シティ」テーマも好調でした。

### 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することで、実質的に世界の株式等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、環境や社会における課題解決に注力していると考えられる企業を中心に分散投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指すことです。これに向けて、テーマごとに定められた客観的な評価尺度を活用しながら投資を行いました。

## 当ファンドにおけるESGに関する投資判断基準について

当ファンドでは、SDGsをベースに環境や社会に関する16のテーマを独自に設定しています。

環境テーマ	対応するSDGs			社会テーマ	対応するSDGs		
	7 エネルギーを みんなにそして クリーンに	13 気候変動に 具体的な対策を	9 産業と 技術革新の 基盤をつくろう		3 すべての人に 健康と福祉を	9 産業と 技術革新の 基盤をつくろう	13 気候変動に 具体的な対策を
二酸化炭素排出削減				ヘルスケア	医療民主化		
代替・再生エネルギー	7 エネルギーを みんなにそして クリーンに	9 産業と 技術革新の 基盤をつくろう	13 気候変動に 具体的な対策を		衛生管理	3 すべての人に 健康と福祉を	
クリーン・テクノロジー	7 エネルギーを みんなにそして クリーンに	9 産業と 技術革新の 基盤をつくろう	13 気候変動に 具体的な対策を		栄養改善	2 飢餓を ゼロに	3 すべての人に 健康と福祉を
環境ファイナンス	7 エネルギーを みんなにそして クリーンに	9 産業と 技術革新の 基盤をつくろう	13 気候変動に 具体的な対策を		高齢者サービス	2 飢餓を ゼロに	3 すべての人に 健康と福祉を
汚染排出物削減	12 つくる責任 つかう責任				機会均等・人材育成・多様化 (グローバル)	4 質の高い 教育を みんなに	5 ジェンダー 平等を 実現しよう
水資源保全	6 安全な水と トイレを 世界中に	14 海の豊かさを 守ろう			機会均等・人材育成・多様化 (日本)	4 質の高い 教育を みんなに	5 ジェンダー 平等を 実現しよう
スマートシティ	9 産業と 技術革新の 基盤をつくろう	11 住み慣れた まちづくりを	15 陸の豊かさも 守ろう		従業員生活支援	1 貧困を なくそう	8 働きがいも 経済成長も
スマート・インフラ	9 産業と 技術革新の 基盤をつくろう	11 住み慣れた まちづくりを	15 陸の豊かさも 守ろう		公正な労働環境	1 貧困を なくそう	8 働きがいも 経済成長も

(注) SDGsは2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で示された国際目標 (Goals) です。貧困・格差の撲滅をはじめ、持続可能な世界を実現するために、国際社会全体が取り組むべき目標です。

これらのテーマ毎に、ETFをそれぞれ1～3銘柄程度選択してポートフォリオを構築することにより、それぞれのテーマの特性を明確にしつつ効率的に分散投資を行うことを目指します。

テーマに沿ったETFを選択する際には、テーマ毎に定義された独自の定量指標（テーマ別スコア）を用います。テーマ別スコアの算出にあたっては、MSCI ESG ResearchのESG関連データを用いています。

MSCI ESG Researchのデータを用いる主な理由は、次の2点です。

### 1. カバレッジの広さ

数多くのETFの中からテーマ別スコアの高いETFを比較選別するためには、可能な限り多くのETFのテーマ別スコアを計測する必要があります。また、ETFのテーマ別スコアを算出する際には、そのETFが保有する個別銘柄ごとのESG関連データが必要です。MSCI ESG Researchは世界株式市場の主要な企業に関するESG情報を提供しているため、現時点においては当ファンドのテーマ別スコア算出のためのデータとして最も適していると考えています。

## 2. リサーチの透明性・客観性

当ファンドのようなETFを通じた株式投資では、効率的に世界株式に分散投資することが可能となる一方で、間接的に保有する銘柄数が非常に多くなるため、ETFが保有するすべての企業についてESG関連のリサーチを独自で行うことは事実上困難です。また、弊社はETFが保有する企業について議決権を保有していないため、個別企業と直接対話を行うことも難しくなります。このような状況では、個別企業についてのESGリサーチを試みることはポートフォリオ全体のESG特性の向上のために効果的とはいえず、むしろ客観的なデータに基づく定量分析に徹すべきと考えられます。MSCI ESG ResearchはデータやMethodologyの開示も十分であり、当ファンドの運用目的に適していると考えています。

テーマ別スコアを定義する際には、基本的に各テーマと関連性の高いMSCI ESG ResearchにおけるKey Issueを選択します。MSCI ESG Researchが定義するKey Issueと当ファンドのテーマは必ずしも一致しないため複数のKey Issueを合成したテーマ別スコアを定義することがあります。

銘柄選択の際には、投資対象となり得るすべてのETFについてテーマ別スコアを算出し、スコアが上位のETFが当ファンドに組み入れられます。

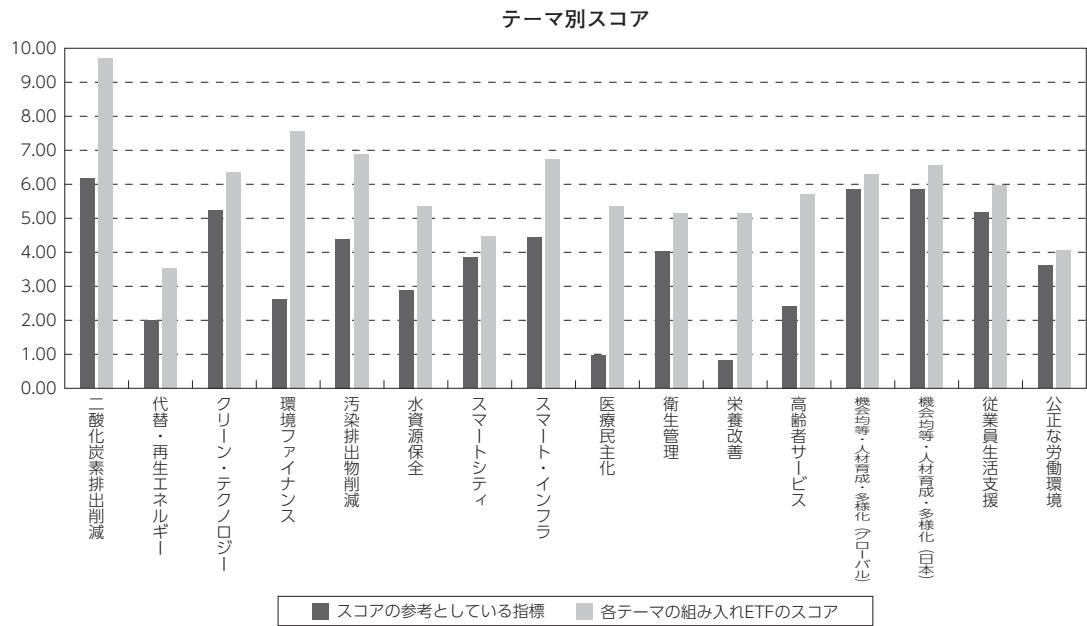
ただし、テーマ別スコアが高くても、ESGとは無関係な戦略に特化したアクティブETFや、特定の地域や業種に特化したETFなどについては、将来的なスコアの安定性が期待できないことやポートフォリオ全体としてのリスク管理の観点などから組み入れない場合があります。

また、流動性や経費率、当ファンド全体としての国・地域や業種のバランスも考慮されます。

テーマ別スコアの参考指標として、代表的な世界株式指数（またはそれに連動するETF）についてもテーマ別スコアを算出し、各テーマについて参考指標を下回るスコアのETFは原則として投資対象から外しています。

組み入れETFおよび参考指標の計算対象となるETFのテーマ別スコアは、原則として月1回計測され、組み入れETFのESG特性が維持されていることを確認し、投資政策委員会に報告されます。

直近時点（2025年8月）における、各テーマの組み入れETFのテーマ別スコアは下記グラフの通りです。



（注）各テーマの組み入れETFのテーマ別スコアが、当該スコアの参考としている指標を上回ることを意識してポートフォリオ構築を行っております。

（注）テーマ別スコアが参考としている指標は、代表的な世界株式ETFである「iシェアーズ MSCI ACWI ETF」の公開情報をもとに計算しております。

（注）各テーマのテーマ別スコアの計算方法は変更される可能性があります。

弊社のESGファンドの考え方等は、今後のESGを取り巻く情勢等に応じ見直す場合があります。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

## ○今後の運用方針

引き続き、環境や社会における課題解決に注力している企業を中心に構成された世界の上場投資信託証券(ETF)に投資を行うことにより、効率的な運用を行うことを目指します。ETFの選定には独自の評価基準を用い、取引コストや流動性なども考慮しながら組入比率を調整して参ります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年9月11日～2025年9月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	円 3 (3)	% 0.021 (0.021)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)	0.031 (0.030) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	7	0.053	
期中の平均基準価額は、11,865円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## ○売買及び取引の状況

(2024年9月11日～2025年9月10日)

## 投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
国内 One ETF ESG	口一	千円一	口3,643	千円80,528
iFree ETF MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ	1,530	5,358	33,160	119,583
合計	1,530	5,358	36,803	200,112
外 アメリカ		千米ドル		千米ドル
ALPS Clean Energy ETF	5,393	122	21,084	585
iShares Ageing Population UCITS ETF	2,862	22	166,064	1,335
UBS Irl ETF plc - Global Gender Equality	1,184	25	39,179	826
iShares Refinitiv Inclusion and Diversit	—	—	47,401	405
iShares Smart City Infrastructure UCITS	34,195	275	38,512	302
First Trust NASDAQ Clean Edge Green Ener	6,185	175	20,571	714
First Trust Global Wind Energy ETF	34,944	559	5,606	92
First Trust NASDAQ Clean Edge Smart Grid	465	54	11,161	1,416
Global X CleanTech ETF	10,030	61	221,175	1,371
Goldman Sachs JUST US Large Cap Equity E	365	30	15,716	1,324
INVESCO WATER RESOURCES ETF	219	14	7,553	522
Invesco MSCI Sustainable Future ETF	1,974	77	27,820	1,179
Invesco Global Water ETF	350	14	13,539	568
iShares Global Healthcare ETF	1,064	91	6,539	603
iShares Global Financials ETF	239	25	15,276	1,548
ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	8,758	97	67,971	882
iShares Global Consumer Staples ETF	538	35	14,418	922
ISHARES MSCI USA ESG SELECT	—	—	3,371	416
iShares U.S. Medical Devices ETF	—	—	18,399	1,120
Nuveen ESG International Developed Marke	546	18	23,604	780
VanEck Environmental Services ETF	( 5,200)	( —)	1,417	94
VanEck Low Carbon Energy ETF	682	68	11,311	1,219
小計	109,993 ( 5,200)	1,770 ( —)	797,687	18,234

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ( ) 内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年9月11日～2025年9月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年9月10日現在)

## 国内投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	当期末			比率
		口数	口数	評価額	
One ETF ESG	9,736	6,093	150,984	2.6	
iFree ETF MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ	83,860	52,230	210,225	3.6	
合計	93,596	58,323	361,210		
銘柄数	2	2	<6.1%>		

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	当期末			比率
		口数	口数	評価額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
ALPS Clean Energy ETF	57,901	42,210	1,211	178,647	3.0
iShares Ageing Population UCITS ETF	441,747	278,545	2,515	371,051	6.3
UBS Irl ETF plc - Global Gender Equality	109,718	71,723	1,677	247,479	4.2
iShares Refinitiv Inclusion and Diversit	137,086	89,685	862	127,169	2.1
iShares Smart City Infrastructure UCITS	146,846	142,529	1,282	189,163	3.2
First Trust NASDAQ Clean Edge Green Ener	47,231	32,845	1,223	180,487	3.0
First Trust Global Wind Energy ETF	33,094	62,432	1,163	171,673	2.9
First Trust NASDAQ Clean Edge Smart Grid	28,137	17,441	2,517	371,320	6.3
Global X CleanTech ETF	211,145	—	—	—	—
Goldman Sachs JUST US Large Cap Equity E	42,583	27,232	2,515	371,140	6.3
INVESCO WATER RESOURCES ETF	24,587	17,253	1,226	180,909	3.1
Invesco MSCI Sustainable Future ETF	81,022	55,176	2,496	368,352	6.2
Invesco Global Water ETF	40,730	27,541	1,225	180,817	3.1
iShares Global Healthcare ETF	33,918	28,443	2,517	371,422	6.3
iShares Global Financials ETF	36,622	21,585	2,479	365,834	6.2
ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	217,643	158,430	2,279	336,317	5.7
iShares Global Consumer Staples ETF	51,207	37,327	2,463	363,372	6.1
ISHARES MSCI USA ESG SELECT	9,677	6,306	835	123,194	2.1
iShares U.S. Medical Devices ETF	58,318	39,919	2,494	367,935	6.2
Nuveen ESG International Developed Marke	68,387	45,329	1,683	248,352	4.2
VanEck Environmental Services ETF	1,588	5,371	207	30,605	0.5
VanEck Low Carbon Energy ETF	31,710	21,081	2,503	369,254	6.2
合計	1,910,897	1,228,403	37,381	5,514,501	
銘柄数	22	21	—	<93.2%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## ○投資信託財産の構成

(2025年9月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 5,875,712	% 98.9
コール・ローン等、その他	67,202	1.1
投資信託財産総額	5,942,914	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(5,515,210千円)の投資信託財産総額(5,942,914千円)に対する比率は92.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、1米ドル=147.52円、1ユーロ=172.55円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年9月10日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円 5,942,914,332
コール・ローン等	67,201,594
投資信託受益証券(評価額)	5,875,712,101
未収利息	637
(B) 負債	24,250,689
未払解約金	24,250,689
(C) 純資産総額(A-B)	5,918,663,643
元本	4,605,428,333
次期繰越損益金	1,313,235,310
(D) 受益権総口数	4,605,428,333口
1口当たり基準価額(C/D)	12,851円

(注) 当ファンドの期首元本額は6,955,164,023円、期中追加設定元本額は2,818,871円、期中一部解約元本額は2,352,554,561円です。

(注) 2025年9月10日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・ お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・ファンド  
4,605,428,333円

(注) 1口当たり純資産額は1,2851円です。

## ○損益の状況 (2024年9月11日～2025年9月10日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円 77,751,763
受取配当金	77,162,058
受取利息	589,657
その他収益金	48
(B) 有価証券売買損益	932,345,005
売買益	1,042,188,314
売買損	△ 109,843,309
(C) 保管費用等	△ 2,004,411
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,008,092,357
(E) 前期繰越損益金	728,373,238
(F) 追加信託差損益金	719,722
(G) 解約差損益金	△ 423,950,007
(H) 計(D+E+F+G)	1,313,235,310
次期繰越損益金(H)	1,313,235,310

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

・ 「投資信託および投資法人に関する法律」第14条の改正に伴い、投資信託約款の「運用報告書に記載すべき事項」の記載を「運用状況に係る情報」に変更する約款変更を行いました。 (2025年4月1日)